

重要取組シート

産業振興局 産業戦略部 地域産業課

取組項目	産業 DX の推進
現状・課題	【現状】 ○ 人手不足やエネルギー・原材料価格高騰等による物価上昇、世界経済の先行きの不透明感が増すなど企業を取り巻く環境が急激に変化している中、各企業は競争力維持・強化のために新たな事業環境にあわせた事業変革をスピーディーに進める必要がある。 ○ 中小企業がこれらの状況を乗り越え経営基盤を強化するためには、生産性及び付加価値の向上に資するデジタルツールの利活用が有効である。現状、本市においてデジタル化に取り組んでいる中小企業は増加しているものの DX の取組は進んでいない。（市内企業の 78% がデジタル化に取り組んでいるが DX に取り組んでいるのは 1.4%：令和 6 年度調査※） ※調査においては、アナログからデジタルツールの活用に向けたシフトを始めた状態やデジタル技術を活用し業務効率化やデータ分析に取り組んでいる状態を「デジタル化」、デジタル技術を活用し経営の差別化や競争力強化に取り組んでいる状態を「DX」と定義した。 ○ DX 推進の模範的企業への調査結果から、DX を成功させるための方向性として、「既存ビジネスの効率化・省力化」によるコスト削減ではなく、「新規デジタルビジネスの創出」や「既存ビジネスの付加価値向上」による全社的な付加価値向上をめざすべきとされている。（出典：経済産業省「DX レポート 2.2」） 【課題】 ○ 企業が DX を推進し生産性を向上するには、自社の DX の推進状況や課題を社内で共有し、次の段階に進むためのアクションを明確にする必要がある。 ○ 市内企業が自社のデジタル化・DX 推進の進捗状況を把握できる診断ツール「堺 DX 診断」の結果を分析すると、業種を問わず、「デジタル人材育成」、「新規事業創発」に課題がみられた。 ○ DX に取り組む意義、市内企業による DX 優良事例や「モデル企業」による実践事例等を広く周知することで DX への理解を深め、デジタル化にとどまらず DX に取り組む市内企業を増やす。
取組の内容	○ 「堺 DX 診断」を昨年度に引き続き実施する。また、診断により把握した課題に対応した支援を市内支援機関と連携しプッシュ型で実施する。 ○ 「堺 DX 診断」の実施にあたって、市内の公的支援機関や金融機関、IT 企業等の参画機関がそれぞれの強みを持ち寄り支援する体制「堺 DX 推進ラボ」を運営し、市内企業の DX に取り組んでいる優良事例の掘り起こしや情報発信等により、地域ぐるみで DX 推進に取り組む。 ○ 堺市産業振興センター内に設置した産業 DX 支援センターにおいて、デジタル技術に精通した専門家による企業の課題に応じた相談やデジタルツールの提案を行う。 ○ 企業が DX の取組を実践することができる社内人材を育成するため、社員に対して実施する研修等に要する経費を補助し、デジタル人材確保・育成を促す。 ○ デジタルツールを活用し、自社の業務の成長・発展に取り組む経費を補助し、市内企業の生産性向上等を促進する。 ○ 独力での DX 推進が難しい中小企業に対して、ワークショップや伴走支援を行い、単なる業

		務効率化ではなく、全社的な収益向上を達成することを目的とする新規事業の創出やビジネス変革の取組の事例を創出する。創出した「モデル企業」による実践事例及び DX に取り組む意義等を市内に広く周知する。 ○ 市内企業約 24,000 社のオープンデータポータルサイト「さかしる」の普及啓発・利用促進により、市内企業の情報収集・発信等を支援する。また、これまでの取組を検証し、今後の方向性を検討する。	
スケジュール	前期 (～9 月)	☐ 堺市中小企業デジタル化促進補助金の申請受付の開始（5 月） ☐ 堺市中小企業 DX リスキリング補助金の申請受付の開始（5 月） ☐ 堺市中小企業デジタル化促進補助金の申請受付を終了（8 月） ☐ 堺 DX 診断を活用した市内企業の DX 診断及びプッシュ型支援の実施（随時） ☐ 産業 DX 支援センターによる市内中小企業への DX 支援（随時） ☐ 「さかしる」の普及啓発・利用促進活動の実施、今後の方向性の検討（随時） ☐ 堺市 DX 新規事業創出業務の実施（随時）	
	後期 (～3 月)	☐ 堺市中小企業 DX リスキリング補助金の申請受付を終了（1 月） ☐ 堺 DX 診断を活用した市内企業の DX 診断及びプッシュ型支援の実施（随時） ☐ 産業 DX 支援センターによる市内中小企業への DX 支援（随時） ☐ 「さかしる」の普及啓発・利用促進活動の実施、今後の方向性の検討（随時） ☐ 堺市 DX 新規事業創出業務の実施（随時）	
	次年度以降	☐ 市内中小企業の DX 推進による生産性向上等に向けた支援策の実施に加え、DX 診断による診断結果の分析データをもとにさらなる支援策を実施する。	
進捗の状況	前期 (～9 月)		
	後期 (～3 月)		
2025 堺市基本計画	該当する施策	成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出	
	寄与する KPI	イノベーション創出につながる事業数 [現状値：74 件（2015 年度～2019 年度の累計）]	目標値（2025 年度） 100 件
未来都市計画 堺市 SDGs	最も貢献する SDGs のゴール	ゴール番号 9	産業と技術革新の基盤をつくろう
	寄与する KPI	—	目標値（2025 年度） —